

## 活動の原点は、世の中のために ありたいという思い

中央区消費者友の会前会長

### 小川幸子<sup>ゆきこ</sup>さん



#### 小学校の婦人学級が 活動のはじまり

昭和19年に結婚と同時に中央区の湊町に住みはじめ、今年で70年になります。

次男が小学生のときに、明石小学校の婦人学級に参加しました。それをきっかけに婦人学級連絡会や中央区の推薦で東京都婦人指導者養成講習会に参加しました。中央区消費者友の会が発足したのもその頃です。公害問題が盛んな時期でしたので、合成洗剤について調べたりしました。また、自動販売機が道路にはみ出して通行の障害になってきたことから、はみ出し自動販売機の撤去運

動もしました。

学習や活動のためには、進んで情報をとる必要があると思います。毎日、新聞を読みました。自分だけよければよいのでなく、人として生まれたからには世の中のためにあらねばならないという思いからとにかく一生懸命でした。

#### 「ゴミ」問題に取り組む

東京都婦人指導者養成講習会では、都内各区からきた女性たちと一緒に学びましたが、講習会が終わった後も「サングループ」と名付けて活動を続けました。

中でも熱心に取り組んだのが「ゴミ」問題です。「ゴミ」は暮らしの中で最も身近な問題であるにもかかわらず、当時は社会問題として扱われていませんでした。そこで私は、自宅前の佃大橋西交差点を通る清掃車の台数を数えるこ

とにしました。交通量の三分の一が清掃車だったことが分かり、新聞に大きく掲載されました。ゴミ処理を見るために清掃工場も見学しました。そうした活動は、『公害前線を探る―主婦のゴミ白書―』として出版されました。「ゴミなんとかならん会」という団体をつくり、銀座でデモ行進し、通産省・プラスチック処理促進協会・石油工業会に要望書を提出しました。

#### モノを申すことが大事

たくさんさんの活動を通して知ったことは、「モノを申すことが大事」ということです。文章を書いたり人と話して自分の考えを伝えることの大切さを知りました。そして、疑問をもったら話し合える仲間をもつことも大切です。昔は話し合いをするにも場所探しが大変でしたが、今は「ブーケ21」があります。「ブーケ21」を利用してどんどん活動をしてほしいと思います。

私はいま、92歳になりましたが、自分史を作ろうと思っています。また、人と話すために、週に1回コーラスに参加してのどを鍛えています。まだまだ元気に活動を続けていきたいと思えます。

#### 活動紹介

子育てを応援！

#### 「子育てリーダーCHUO」

子育てリーダーCHUOは、2006年に中央区地域家庭教育推進協議会が開催した「子育てサポーターリーダー養成講座」を修了したメンバーが、「地域の子育てを応援したい」と立ち上げたボランティア団体です。会員は11名、保育士や幼稚園の先生、子育て経験のある方々が活動しています。

女性センター「ブーケ21」で開催している、「ほっと一息わたしの時間」、「中央区イクメン講座」の託児など事業協力をいただいています。

社会教育会館では、地域の子育てをしている、ママ・パパのために子育てリフレッシュのイベントを年に2、3回開催しています。親子で工作や折紙を楽しんでもらったり、親同士がおしゃべりをしてくつろぐお茶サロンのコーナーもあります。最近では、夫婦で参加したりと父親の参加も増えてきたそうです。

活動の感想として、「自分の経験を通して子育て中の方々に応援したい」（若林さん）、「カウンセリングの勉強をしたので



お話を聞くことで役に立ちたい」（近藤さん）、「楽しんでもらえるのがうれしい」（渡辺さん）とお話いただきました。

右から近藤さん、渡辺さん、若林さん

## 報告 中央区イクメン講座 子どもを見えない敵から守ろう！ 「予防接種と事故防止のお話」

平成25年度から始まった中央区イクメン講座の3回目は、1月25日(土)に聖路加国際病院小児科医長の草川功先生をお迎えして、予防接種と事故防止について学びました。

子どもの健康を守るために感染症予防が大切で、原因となる細菌とウイルスの違いや空気感染、飛沫感染、接触感染など感染経路の違いによる日常生活での予防対策のほか、体のことを知るため、感染経路である気道の専門的な知識、天気予報や感染情報の収集も役立つことなどを教えていただきました。また、予防接種については効果や接種スケジュールだけでなく参加者からの質問にもわかりやすく説明してくださいました。

事故については、小児に多い事故事例から発生原因や対処方法の説明のほか、人形を用いて心肺蘇生や異物除去の実演もしていただきました。

参加者の皆さんからは、「とても勉強になりました」、「特に事故予防対処について勉強できた」などの感想をいただきました。



卓川功さん



## 報告 男女共同参画講座 はじめて学ぶが私らしく生きるための 「アサーティブトレーニング」

1月29日(水)、2月5日(水)の両日、相模女子大学教授の小柳茂子さんを講師にお迎えし、アサーティブトレーニングの講座が行われました。

応用例をおとして、アサーティブな表現とは何かを考え、まずアサーティブ(自己表現)とは何かを学ぶことから始まり、自分と相手のどちらも大切にしながら自分の気持ちをさわやかに表現するためのアサーティブの手法(表現方法)を学びました。

講座を取材したことで、自分が日ごろ日常会話で使用してきた言葉遣いの癖に改めて気付かされました。「コミュニケーションが苦手だと感じている人や対人関係で悩んでいる人も言葉遣いの表現をアサーティブなものに変えていくことによって、より良い人間関係を築くことができるのです。

他者優先で自分を引っ込めてしまう(非主張的)、相手に伝えようとしたことを相手が察してくれないと諦める、相手の勢いに押されてしまい、相手の言動に振り回されやすいと感じる方にはお勧めの自己表現のトレーニング方法だと思えます。

区民事業協力スタッフ 中原玲子



小柳茂子さん

小柳さんの著書  
『アサーティブ  
トレーニングBOOK』  
新水社 2008 共著、  
他多数

## 報告 男女共同参画助成事業 男と女のちよつといい話 「心がなごむ法話」

2月22日(土)、中央区女性ネットワーク主催による講演会が開催されました。講師は、女優である妻の活動を支えながら、地域の人々の「なごむ場所」として、なごみ庵を開いている住職の浦上哲也さんです。

一般家庭で育った浦上さんが、自分で学んだことを人々に伝えたいという気持ちで膨らんで住職になられたというエピソードや、ご夫婦で共に考え命名した俱生山(くしょうやま)なごみ庵の謂れは、とても興味深いものでした。

また、尊敬する親鸞聖人の生き方や夫婦のあり方から「自分も祖師の歩んだ道を辿りたいと思っている」というお話には、浦上さんの人生そのものを感じました。最後に、「あなた」という言葉の持つ深い意味と、それにまつわる素敵な詩を朗読してください、心に響く内容に38名の参加者の皆さんはすっかり魅了され聞き入っていました。日々の生活の中で、男女が互いに補い合って心豊かに暮らしていけるヒントをいただいた気がしました。

中央区女性ネットワーク会長 三田富貴子



浦上哲也さん



## 報告 中央区ブーケ祭り実行委員会が 開催されました

今年、13回目を迎える中央区ブーケ祭りの開催に向けて、2月21日(金)に第1回実行委員会が開催されました。会長には岸本裕子さんが選任されました。

今年の参加団体は29団体を予定。開催日は6月20日(金)、21日(土)を予定しています。



## 報告 女性センター「ブーケ21」 利用者懇談会が開催されました

2月10日(月)、日ごろ「ブーケ21」を利用する登録団体にお集まりいただき、利用者懇談会が開催されました。活発な意見交換が行われ、ご出席いただいた皆さんから大変貴重なご意見・ご要望をいただきました。



## 募集

「ブーケ21」では、1階にグランドピアノを設置しています。区主催の講座や講演会開催前に、参加者にくつろいでいただくため、ボランティアでピアノ演奏をしてくださる方を募集します。演奏時間は10分程度です。詳しくは「ブーケ21」までお問い合わせください。



# T O P I C S

中央区では  
育児・家事をする  
男性を応援します

## おとこの家事チャレンジ講座

12月1日(日)、8日(日)、15日(日)と全3回にわたって、おとこの家事チャレンジ講座が開催され、延べ24人が参加されました。

**1回目**  
12月1日

講師は日本で唯一の男性家事コンサルタントの神長一徳さんです。年末に向けた大掃除について学びました。参加者が持ち寄った「換気扇のフィルター」や「まな板」などを使って講師の実演のあとに実際に参加者も汚れを落としていきました。



▲ブラシと重曹で汚れを簡単に落とすことができます



▲汚れのつき方を説明していただきました

**2回目**  
12月8日

食育インストラクターの吉田光一さんを講師にお迎えして、鍋料理のポトフと惣菜のアレンジに挑戦しました。ポトフは野菜を切って鍋に入れて水と塩・ブイヨンを加えるだけです、同じように作っているつもりでも味が全然違うことに驚く参加者もいました。介護食にも応用できるとのことでした。

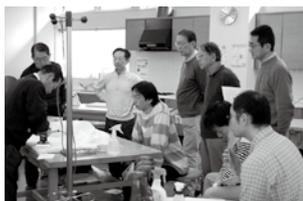


◀まずは先生が実演  
塩で味を調整します▼

**3回目**  
12月15日

アイロンがけの講師はクリーニング店を営む吉永恵一さんです。吉永さんはこの道60年の大ベテランで全国ワイシャツ仕上げ競技大会の2005年度優勝者でもあります。ワイシャツのアイロンがけの実演では、アイロンを滑らせながら時には体重を乗せて押さえたりと、説明しながらも手際よく作業が進んでいくプロの技に参加者はメモを取りながら見入っていました。

▶ワイシャツのアイロンがけを実演



▶シャツの内側にもアイロンをかけます



▶ワイシャツは折りたたんだら完成です

### 近隣関係の再構築

▶何十年ぶりかの「大雪」に見舞われた東京で、思いはやはり、東日本大震災の被災地に飛びました。▶まもなく3回目の「3.11」がめぐってきます。資材不足、人力不足、技術不足など、不足だらけの困難に直面しながらも、被災地では復興のための努力が続けられています。少しずつではあっても、新しい住まいの建設、移転地の造成、避難路の建設などが目に見えるようになってきたところもあります。▶長い年月をかけて培ってきた近隣関係を、理不尽にも失わせるを得なかった人たちは、新しい生活を始めるにあたって、再び、近隣関係の構築を迫られます。「男女共同参画の力」がこれほど問われることはないといっているほどです。▶でも、被災地で出会った人々の顔を思い浮かべると、いかにも頼もしく、こうした試練をものともせず乗り越えていけそうです。▶ひるがえって、大都会に住む私たちの場合はどうでしょう—人口急増中の中央区としても大切なテーマとなるでしょう。「男女共同参画の力」は、こうした局面でこそ遺憾なく発揮されるのですよね。

(松川淳子)

### 館長 雑記

## 「ブーケ 21」女性相談をご利用ください

配偶者や恋人からの暴力DVをはじめ、女性のさまざまな悩みに専門相談員がお応えします。お気軽にご相談ください。(相談無料、秘密厳守)

相談・予約電話番号 03-5543-0653

電話相談(予約不要) 毎週月曜日 10:00～16:00 (ただし祝日、年末年始を除く)

面談相談(予約制) 毎月第1・5水曜日 第4火曜日 10:00～16:00  
毎月第2火曜日 第3水曜日 15:30～20:30  
(ただし祝日、年末年始を除く) \*託児付(要予約)  
上記以外の時間でも、女性センター開館時は予約を受け付けます。

## 女性センター「ブーケ 21」へ来てみませんか?

女性センター「ブーケ 21」は、男女共同参画推進のための活動を支援し、一人ひとりが自分らしく輝くことができる中央区をめざす施設です。女性、男性、どなたでもお気軽にお越しください。

〒104-0043 東京都中央区湊一丁目1番1号  
電話番号 03-5543-0651  
ホームページ <http://bouquet21.genki365.net/>

◆開館時間 午前9時～午後9時(12月28日から1月4日までと臨時休館日を除く)

- 東京メトロ日比谷線・JR京葉線 八丁堀駅下車 A2・B3出口徒歩3分
- 都バス「東15」(深川庫車庫⇄東京駅八重洲口/豊洲駅 明石町経由) 鉄砲洲下車 徒歩3分
- 江戸バス「南循環」鉄砲洲下車 徒歩3分 入船三丁目下車 徒歩3分 「北循環」八丁堀駅下車 徒歩3分

